

# 減災のための目標(案)について

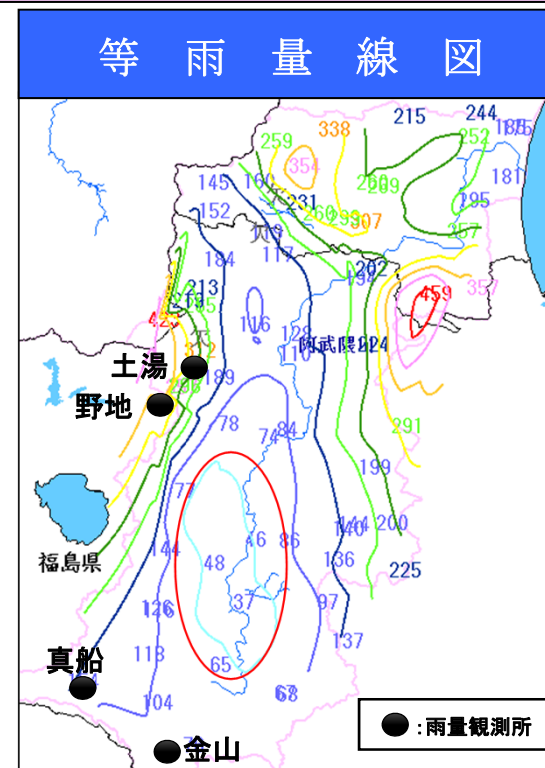
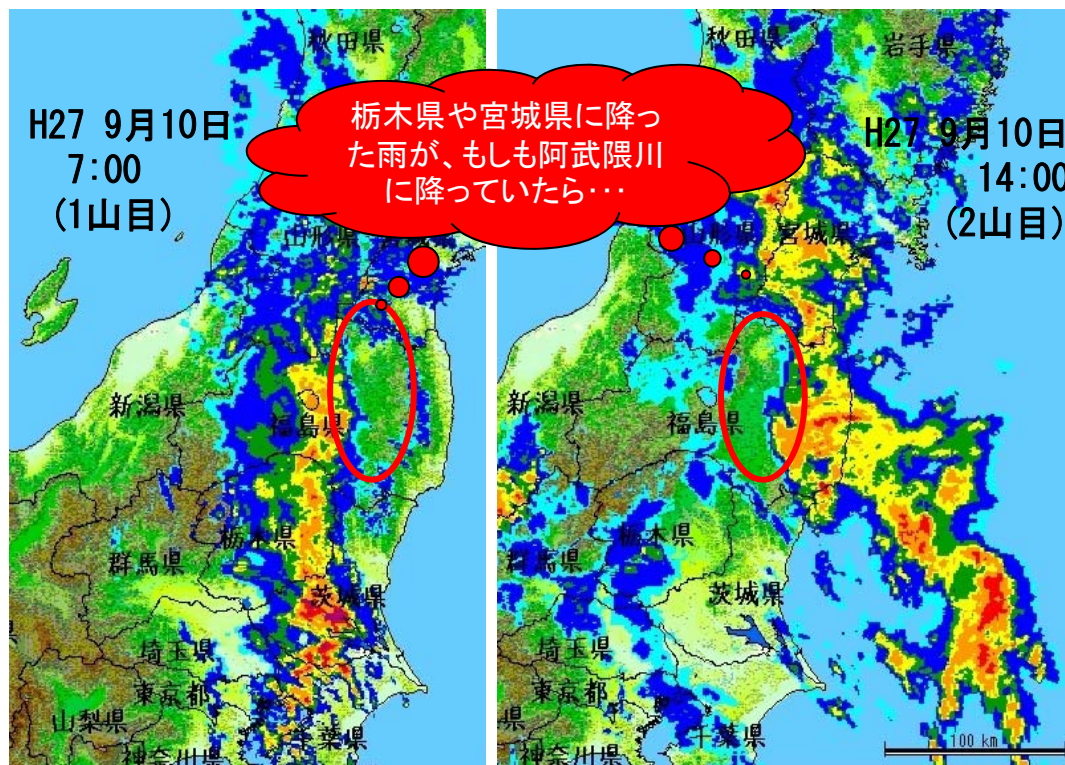
# 平成27年9月洪水の阿武隈川上流の状況

## 危機管理対策上の課題(阿武隈川上流)

- 河川の改修が進み、洪水等による氾濫被害が減少する中で、時間の経過とともに、沿川の人々の洪水等に対する危機意識は希薄化する傾向。(戦後最大出水のS61洪水被害から30年が経過)
- 阿武隈川では、平成の大改修などにより堤防の整備が進展したこともあり、その傾向は強く、水害に対する防災意識の向上が課題。

## 平成27年9月洪水時の状況(阿武隈川上流)

- 9月9日から11日の3日間の総雨量は、野地観測所(福島市)380ミリ、土湯観測所(福島市)260ミリ、真船観測所(西郷村)197ミリ、金山観測所(白河市)で135ミリに達した。
- 一方、郡山や須賀川観測所など平地部では50ミリ程度であり、大きな被害は発生せず。しかし…



## 減災のための目標(案)

### ■5年間で達成すべき目標(案)

阿武隈川では、盆地と狭窄部が交互に現れる地形特性や流路が台風進路と一致しやすい流域特性から、過去に幾度も甚大な浸水被害が発生しているため、平成27年9月関東・東北豪雨の教訓等を踏まえ、阿武隈川上流で発生しうる大規模水害に対し、「逃がす・防ぐ・取り戻す」取り組みを進めることで防災意識の向上、被害の最小化を目指す。

- 逃がすとは……流域住民が主体的に水害リスクを把握し、避難につながる、住民目線のソフト対策が必要です。
- 防ぐとは……地域の水防力向上を図り、氾濫被害の防止や軽減、堤防決壊を少しでも遅らせ避難のための時間を稼ぐことが必要です。
- 取り戻す……大規模な浸水が長期に及んだ場合に、1日でも早く日常生活を取り戻すための対応が必要です。

# 減災のための目標(案)

## ■ 目標達成に向けた3本柱の取組

阿武隈川上流において再度災害防止等を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

### 1. 住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション

- ・出水時の、河川管理者からのホットラインの確認、タイムラインの精度向上
- ・平時において、小学生等を対象とした防災・河川教育の取組強化
- ・過去洪水における水位状況表示、ハザードマップの改良と周知 等



### 2. 発災時に人命と財産を守る水防活動の強化

- ・水防活動の効率化及び水防体制の強化
- ・水防団や地域住民が参加し水害リスクが高い箇所での共同点検
- ・重要水防箇所等の的確な伝達と確実な周知 等



### 3. 一刻も早く日常生活を取り戻すための排水活動等の強化

- ・国と市町村の合同での排水ポンプ車操作訓練の実施
- ・災害対策車の機動的かつ広域的な運用 等



# 避難行動を促すための取り組み事例①

避難

- ・プッシュ型情報配信「阿武隈川お知らせメール」や「川の防災情報」サイトの活用・普及促進
- ・洪水時における河川管理者からのホットラインやタイミングの確認、タイムラインの精度向上

## <課題>

- ・住民へ適切かつ確実な情報伝達する体制や方法の改善が必要
- ・個別に整備してきた情報は、緊急時に各々を照らし合わせて見る必要があるほか、そもそも**認知度が低い**。

浸水想定区域図

危険箇所

何かいい情報の集約方法はないかな・・・

CCTV画像

ホットライン



気象データ

タイムライン

水位観測データ

流量観測データ

## ◆「川の防災情報」リニューアルの普及促進

○住民自らが避難に必要な情報をいち早く入手し、水害リスクを察知して主体的に避難して頂けるよう、機能追加・サイト構成の抜本見直し。

大雨時の川のはん濇の危険性を知らせる

**国土交通省 川の防災情報**

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

PC版 スマートフォン版

住民の方々自らはん濇の危険性を知り、的確な避難行動などに役立つように、利用者目線に立った新しい川の防災情報がはじまります！  
(平成28年3月28日夜間に開始予定)

■あなたが住んでいる場所の  
はん濇の危険性を知ることができます。

川の水位や雨の現在の状況が分かります

氾濫の危険性がわかります



【アクセスURL】 [1]PC版 <http://www.river.go.jp/> [2]スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>

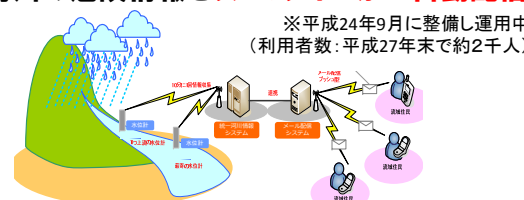
## ◆「阿武隈川上流お知らせメール」の普及促進

**阿武隈川の水位・雨量お知らせメール**

河川の危険情報をリアルタイムかつ自動配信！

※平成24年9月に整備し運用中  
(利用者数：平成27年末で約2千人)

雨量や水位が一定の基準を超えると・・・  
河川の危険情報をリアルタイムかつ自動配信！



■お知らせメール配信

info@posthr.mlit.go.jp  
北上川流域水災害お知らせメール

○市 ○○  
の方への情報です。

■水位 11/13 10:20現在  
○水位観測所は、水防団待機水位に達しました。  
今後の水位状況にご注意ください。  
危険さへん(4)

■□□□□

---  
詳細はこちら！  
<http://www.sgmt1.thr.mlit.go.jp/mob/Information/gjp/1113>  
※運管様でお知らせしています。  
岩手河川国道事務所  
E=mls@waterchou1.thr.mlit.go.jp

【アクセスURL】 <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/antenna/osirase-mail.html>

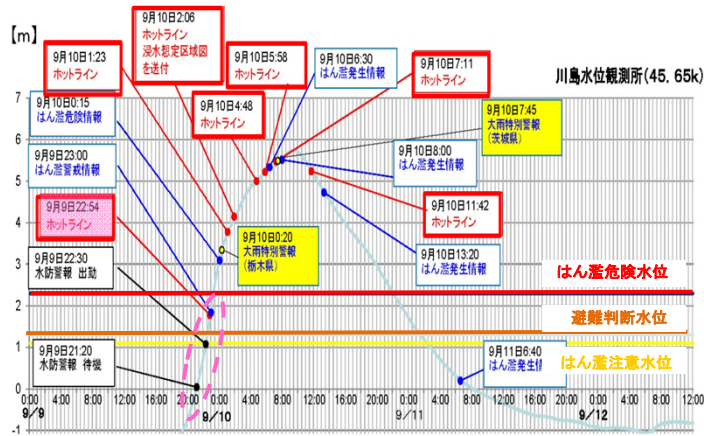
# 避難行動を促すための取り組み事例②

避難

◆『ホットライン』: 国交省から市町村長へ、電話連絡による水位等の河川情報の提供

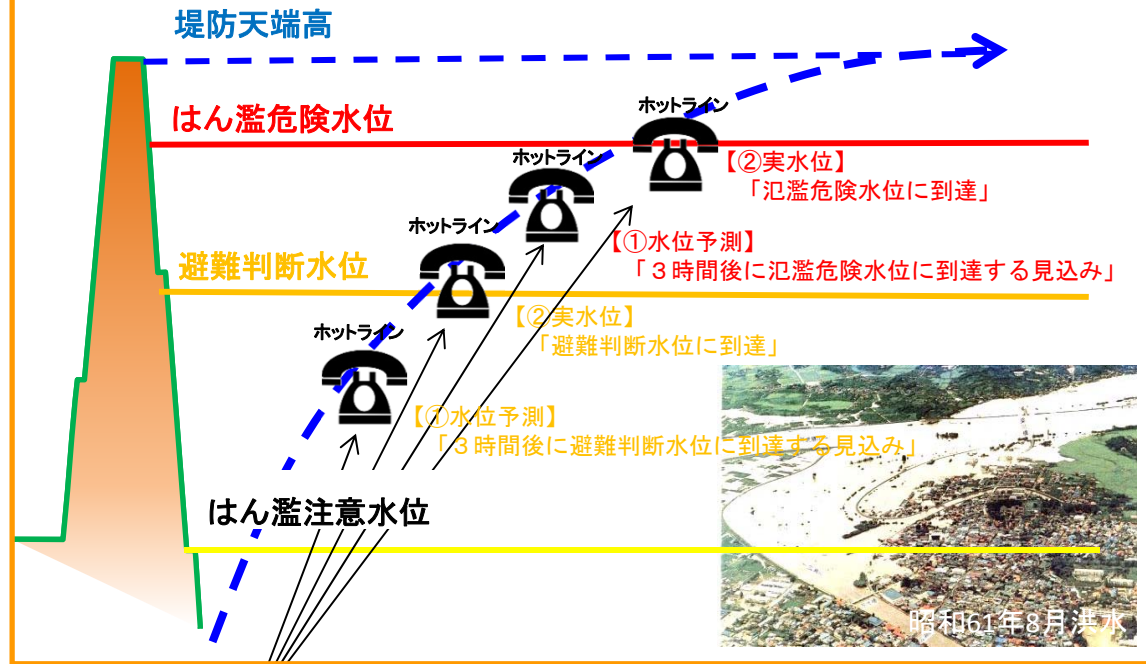
## 【H27.9 関東・東北豪雨の事例】

◇常総市長と事務所長の間で  
ホットラインによる情報交換を実施



※H27. 10. 5 「平成27年9月関東・東北豪雨を受けて避難を促す緊急行動を実施します」の記者発表資料より引用

## 【阿武隈川におけるホットライン】

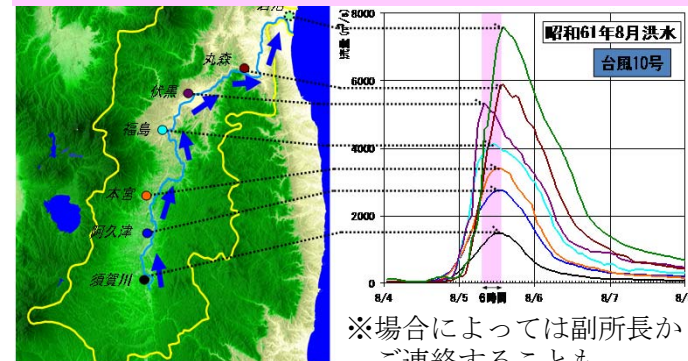


## 【H27.12阿武隈川トップセミナーでの確認事項】

阿武隈川では、次のタイミングを目安に、  
事務所長から市町村長へ連絡します。

- \* はん濫危険水位・避難判断水位に対して
- ① 到達が見込まれると予測された時点
- ② 実際の水位に到達した時点 **計4回程度**

## 洪水特性：ピークがほぼ同時刻に発生



※場合によっては副所長からご連絡することも。

# 避難行動を促すための取り組み事例③

避難

- ・ 平時から、小学生等を対象とした防災・河川教育の取組強化を推進
- ・ 過去洪水における水位状況表示、ハザードマップの改良と周知 等

## ◆ 防災・河川教育の取組強化

H27.10 鎌田小学校 (福島市)



H27.6 清明小学校 (福島市)



防災・河川教育の実施

## ◆ 河川管理の見える化 (河川水位等の表示)

### 河川水位の表示



### 既往洪水の水位を表示



### 排水機場稼働時の工夫



水位表示等の事例

# 水防活動の強化に係る取り組み事例①

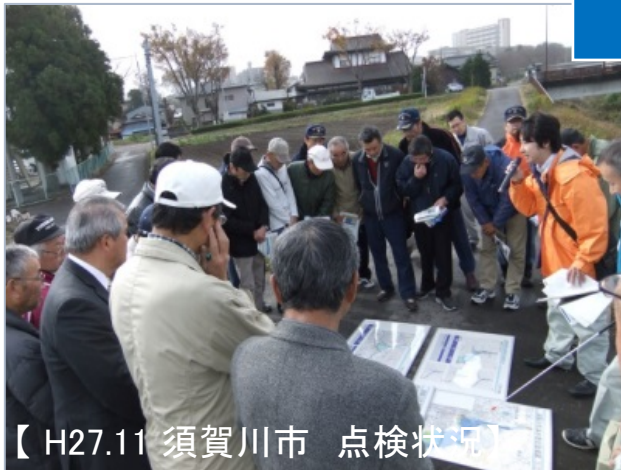
水防

## ・水防活動の効率化及び水防体制の強化 等

### ◆「避難を促す緊急行動」として 実施した住民参加型の共同点検



【H27.11 伊達市 点検状況】



【H27.11 須賀川市 点検状況】

地域住民を支援する緊急行動の実施状況

### ◆重要水防箇所合同巡視の実施



【H27.5 本宮市 重要水防合同巡視】



合同巡視の実施状況（従来は水防団の方々と実施）

※今後の合同巡視では  
住民等を交えて実施



# 排水活動の強化に係る取り組み事例①

排水

## ・国と市町村の合同での排水ポンプ車操作訓練の実施

### ◆郡山市と合同の排水ポンプ車操作訓練の実施



排水ポンプの設置排水訓練



ホース接続訓練状況

福島民報新聞 平成27年8月30日

### ■排水ポンプ車 操作万全 ～阿武隈川 初の合同訓練～ (福島河川国道事務所・郡山市)

- ・二十八日、市内富久山町の阿武隈川沿いで排水ポンプ車の設置・操作訓練を行った。
- ・参加者は、豪雨による河川の氾濫や道路冠水に備え、迅速な作業ができるよう万全を期した。
- ・郡山市が今年度、排水ポンプ車を導入したため、初めて合同で行った。訓練には約四十名が参加し関係者約三十人が見学した。
- ・品川万里市長が訓練を見守った。

## ・災害対策車の機動的かつ広域的な運用

### ◆平成27年9月関東・東北豪雨での排水ポンプ車活動状況



排水ポンプ車活動状況



福島河川国道事務所配備の排水ポンプ車を広域的に運用し、宮城県内で活動

### H27.9 排水ポンプ車の広域運用

